

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 地域でくらす会	理事長	井上 徹	法人・ 事業所 の特徴	いくのさん家の基本理念「関係性こそ、その人らしさ どう生きたいか、に立ち返る ひ とりの支援は、地域を変える」に沿って、住み慣れた自宅や地域での生活が安心して継 続出来るよう、地域資源を活用したり、近所の方にも協力していただいたりして、一人 ひとりの思いを大切にす支援をするよう心掛けている。
事業所名	小規模多機能型居宅 介護 いくのさん家	管理者	西村 和美		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	1人	1人	1人	1人	1人	2人	3人	0人	11人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の 確認	・各職員の振り返りはもちろんだが、チーム内の会議を充実させ意識の統一や課題の整理を行い、取組みを積み重ねていく。	・少しずつではあるが、チーム内の会議が活発になってきている。全体で情報共有していくためにも、今後もチーム活動の積み重ねを図っていく。	・場所が新しく変わったことで色々大変だと思いますが、地域の方々との信頼関係を作り根付いて下さい。 ・一人でも多くの職員が取組みに自信を持ってたらいいですね。	・事業所内の活動に留まらない様に、全職員が積極的に地域活動に参加し地域住民との交流を図っていく。
B. 事業所の しつらえ・環境	・継続して広報誌を配布し、事業所を知って頂く機会を作る。活動内容だけではなく、今後の行事予定を記載するなど工夫し啓発をしていく。	・移転する前には、地域の方や関係者向けに内覧会を開催し、多くの方々に足を運んでいただくことが出来た。行事開催の時は、近隣にチラシを配布し参加を呼び掛けたり、掲示板での告知を行った。	・建物も新しくなり、事業所が交流拠点になったらいいなあと思います。子供達には芝生もあり入りやすい雰囲気だと感じます。 ・木の空間が過ごしやすい雰囲気、居心地の良さがあります。 ・入りやすい工夫というより、入る事でのメリットを考えていく方がいいのでは。例えば、介護に興味がある人はどうぞなど。 ・ターゲットを分けて告知内容も検討し、周知してもらおうかも重要だと思います。	・行事開催の場合、近隣の方には直接チラシを配布し周知して頂く。世代別にイベント内容を検討する。(掲示板での告知も) ・地域の方々を対象としたボランティアを募る。
C. 事業所と地域の かかわり	・今年度も継続して認知症予防カフェに参加・参画していく。担当職員だけではなく、一人でも多くの職員が参加出来るように取組む。	・認知症カフェに積極的に参加する事で、事業所を知って頂く機会にもなった。担当職員以外の参加も目標にしていたが、機会が少なかった。ただ、担当職員は参加者の方と顔なじみになり、相談を受けるなど関係性を構築する事が出来ている。当番月の内容を多くの職員で検討する時間が足りなかった。	・事業所がある場所は昔から住んでいる方と、若い世代が住むちょうど間にあります。昔から住む地区の核になる人を見つけて関わっていくのもいいと思います。 ・老人クラブの皆さんは色々活動されているので、一緒に何かしてみてもいいかな。	・町内会のイベントに参加し、交流の機会を作る。 ・テーマを募集し、地域の方を交えて研修会を開催する。(他機関との連携)
D. 地域に出向いて 本人の暮らしを 支える取組み	・ご本人の「～したい」を掘り下げ、一つでも多くの地域活動への参加を図る。その為の、情報収集をしっかりと行っ	・日々の関わりから、ご本人の「～したい」を掬い上げるようになってきている。少しずつではあるが、それぞれの地域と関係が途切れぬように取り組んでいる。ただし、自宅が事業所から遠方にある方	・全部が全部地域の方を交える機会があるとは限らないと思うので、そのような事例があればおのずと近隣住民との関りが出てくるのではないのでしょうか。 ・近隣住民との情報共有が出来たらいいと思	・地域行事の情報収集は継続して行っていく。(ご本人にとっての馴染みの店や場所の把握) ・介護の相談窓口になれるよ

	ていく。	への支援に対して課題がある。	います。	うに、チラシを作成し近隣に配布する。
E. 運営推進会議を活かした取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運営推進会議で、困難事例等相談過程から委員の皆様と検討、報告していく機会を設ける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業所の困りごとや課題等は活動状況報告の中でお伝えする事が出来ている。困難事例はなかったが、近隣の方から介護のヘルプがあり対応したケースがあった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・移転されたことで、新しい地域との関係性を築きこのような事例が増える事を期待しています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護相談のチラシを作成し、定期的に配布する。</li> <li>・テーマを募集し、地域の方を交えて研修会を開催する。(他機関との連携)</li> </ul>
F. 事業所の防災・災害対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・訓練の内容をより具体化し、各職員があらゆる想定に対し行動出来る様に計画する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・建物、地域が変わったので、各職員が避難時の行動を周知していった。想定内容を確認しながら、臨機応変に対応できるように積み重ねていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・何かあった時にいかに周囲に助けてもらえるかという事を意識しないといけないと思います。日頃のお付き合いを大事にして、いい関係を作ってください。</li> <li>・事業所に入ったことがない人にしたら、どこに部屋があって、この方はどのような介助が必要か何も分からないと思います。やはり、日頃から事業所を知って頂くことが大切ではないでしょうか。</li> <li>・近隣に学生のアパートもありますし、積極的に声をかけてみてはどうでしょうか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の方に事業所の中を知って頂く機会を作る。(イベントや介護相談等)</li> <li>・地域の訓練に参加し、相互関係を作っていく。</li> </ul>

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 12 月 26 日 (18 : 15 ~20 : 30)

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 14 人/14 人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0 人	10 人	4 人	0 人	14 人

前回の改善計画

- ・記録の書き方の統一を図る。(何を記録として残すのか、日々の何気ない会話等掬い上げる。)
- ・記録について検討し振り返る。(月 1 回の会議)

前回の改善計画に対する取組み結果

- ・記録についての研修会を行い、記録の重要性について確認する機会を設けた。まだ、職員によって記録について認識の差があり、必要な部分が見落とされている事もある。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	3 人	9 人	1 人	1 人	14 人
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	3 人	10 人	1 人	0 人	14 人
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	4 人	9 人	1 人	0 人	14 人
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	3 人	9 人	2 人	0 人	14 人

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・ご本人が慣れていない時期には不安を感じる方も多し。しっかりと傾聴し寄り添う支援を心掛けている。また訪問を積極的に活用し信頼関係を構築することに努めている。訪問で徐々に関係性が深まってきてから、必要に応じた通いや泊まり利用の提供に繋げている。ご本人、ご家族との会話の中から、思いや考えを掬い上げる様に努め支援に活かしている。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・会話の中から聞き出した情報が伝達出来ていないことがあり、情報共有が不十分になってしまっている。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)

- ・ご本人の言葉や表情、感情などその場にはない職員でも様子が分かるように記録に落とし込む。連絡ノートをしっかり活用し情報の共有をする。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 12 月 26 日 (18 : 15 ~20 : 30)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 14 人/14 人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0 人	8 人	6 人	0 人	14 人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"><li>・記録の書き方の統一を図る。</li><li>・月 1 回の会議ではチームで話し合う時間を作る。</li><li>・ご本人の「～したい」等、即時的プランを実行し振り返る。</li></ul>
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"><li>・チーム活動を重点目標として掲げていた。会議前には、事前にチーム内でミーティングをするなど一定の活動には繋がっているが、時間が足りず工夫が必要である。記録に関しては研修会を開催したが、今後も定期的に記録について考え、共有していく必要がある。</li></ul>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	0 人	8 人	5 人	1 人	14 人
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	0 人	8 人	6 人	0 人	14 人
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	0 人	7 人	7 人	0 人	14 人
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	人	9 人	4 人	1 人	14 人

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"><li>・ご本人の生活歴や会話の中から「～したい」を掬い上げ、実践することが出来ている。今まで培ってきた経験を活かせる環境を提供し、ご本人のやりがいに繋がるように支援することが出来ている。また、即時的に対応が必要な場合も柔軟に対応する事が出来ている。</li></ul>	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"><li>・実践後、振り返りや次の対応に活かされていらない。記録の内容がその時にかかわった職員以外が読んでも状況が分かるまでになっていない。</li></ul>	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<ul style="list-style-type: none"><li>・即時的に対応が必要なケースが起きれば、職員間で情報をしっかりと共有する。実践した内容、かかわった結果どうだったかその後の振り返りと、次の対応までしっかりと話し合い記録していく。</li></ul>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 12 月 26 日 (18 : 15 ~20 : 30)

3. 日常生活の支援

メンバー 14 人/14 人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0 人	11 人	3 人	0 人	14 人

前回の改善計画	・私の暮らしまとめシートへの記入を充実させていく。 (ご本人が大切にしてきた事、こだわってきた事の把握)
前回の改善計画に対する取組み結果	・会話の中で、ご本人のこだわりや大切にしてきた事を掬い上げる事は出来ている。私の暮らしまとめシートへの記入はまだ不十分である。ご家族と会う機会が少ないので、今後どのように機会を設けていくか工夫が必要である。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	0 人	4 人	7 人	3 人	14 人
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	2 人	12 人	0 人	0 人	14 人
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	0 人	8 人	6 人	0 人	14 人
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	4 人	10 人	0 人	0 人	14 人
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	3 人	10 人	1 人	0 人	14 人

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・体調面、精神面ともに変化に気付いた時は職員間で情報を共有することが出来ている。可能な限りご家族からも情報の収集を行い、日常生活の些細な変化に気付くことが出来る様に努めている。寄り添って話しを伺い、言葉を掬い上げ支援に繋げている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・訪問時、送迎時の様子を伝え共有することが出来ていても、日中の様子を話し合う機会が少ない。ご利用者との会話で得られた情報の共有が不十分である。その為、ご本人の生活環境の情報があっても見落とされている。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
・身体介護技術の勉強会を企画し開催する。 ・即時的に対応が必要なケースが起きれば、職員間で情報をしっかりと共有する。実践した内容、かかわった結果どうだったかその後の振り返りとあわせて、次の対応までしっかりと話し合い記録していく。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 12 月 26 日 (18 : 15 ~20 : 30)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 14 人/14 人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	0 人	0 人	10 人	4 人	14 人

前回の改善計画  
・ご本人それぞれの地域に出向く。  
(それぞれの地域を知る)

前回の改善計画に対する取組み結果  
・地域活動が活発な方以外も、公民館活動と一緒に参加するなどして、地域住民の方との交流の機会を設けた。全員の地域となるにはまだまだ工夫、改善が必要である。送迎時や訪問時も地域に出向く機会と捉えていきたい。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	0 人	8 人	6 人	0 人	14 人
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	2 人	8 人	3 人	1 人	14 人
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	0 人	7 人	6 人	1 人	14 人
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	0 人	4 人	8 人	2 人	14 人

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること  
・全員ではないが今までの関係性が途切れないように、地域活動を支援することが出来ている。また、培ってきた経験を活かせるように外部と調整し、支援に繋げる事が出来ている。可能な限りご家族にも関わって頂くように働きかけている。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること  
・特定の方以外は民生委員や地域の方と関わる機会がない。また、ご利用者ごとの地域へのアプローチはまだ不十分である。送迎時や、訪問時も地域に出向く機会と捉える事が必要である。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)  
・訪問時や送迎時も情報収集の機会であると意識して支援する。私の暮らしまとめシートを活用する。  
・介護者同士の交流会を計画する。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成 30 年 12 月 26 日 (18 : 15 ~20 : 30)
------------------	-----	--------------------------------------

5. 多機能性ある柔軟な支援	メンバー	14 人/14 人
----------------	------	-----------

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0 人	9 人	5 人	0 人	14 人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>記録の書き方の統一を図る。</li> <li>即時的に行う内容をミーティングで共有する。必ず記録し、振り返る。</li> </ul>
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>記録についての研修会を開催したが、まだ職員間で共有出来ていない事もある。その時々で必要な支援について話し合い実践出来ているが、振り返りが不十分であった。</li> </ul>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	0 人	7 人	7 人	0 人	14 人
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	8 人	5 人	1 人	0 人	14 人
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	4 人	9 人	1 人	0 人	14 人
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	5 人	9 人	0 人	0 人	14 人

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>ご本人、ご家族の体調はもちろんの事、精神的な変化に応じて、柔軟に「通い」「泊まり」「訪問」を組み合わせて支援することが出来ている。必要に応じて、訪問回数を増やし、送迎の時間を変更するなど対応出来ている。積極的にボランティアの方を受け入れ、一緒に支援の輪の中に入れてもらえるよう働きかけている。</li> </ul>	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>記録の書き方で職員間バラツキがある。気づきに関して個人差があり、掬い上げる事が不足している事がある。記録された内容を振り返り関りの統一を図ることが不十分である。</li> </ul>	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<ul style="list-style-type: none"> <li>即時的な対応が必要な場合は、朝礼等で問題提起し職員間で共有し柔軟に支援する。その後の結果、振り返りまでしっかりと記録に残す。(毎月の会議で事例を通して振り返りを行う)</li> <li>多種多様なボランティアの受け入れ。</li> </ul>	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成 30 年 12 月 26 日 (18 : 15 ~20 : 30)
------------------	-----	--------------------------------------

6. 連携・協働	メンバー	14 人/14 人
----------	------	-----------

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3 人	4 人	6 人	1 人	14 人

前回の改善計画	・ 認知症カフェへの参画を継続し、参加者との交流を深める。担当職員を中心に、職員全体で考える。(担当月の企画は、参加者から案を募り実践していく。)
前回の改善計画に対する取組み結果	認知症カフェに企画段階から参加し実践する事が出来ている。担当職員を中心として、地域住民との交流が増え顔なじみになっている。また、介護相談もあり利用に繋がったケースもあった。ただし、職員全体で関わるには至っておらず今後検討が必要である。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？	9 人	5 人	0 人	0 人	14 人
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	7 人	7 人	0 人	0 人	14 人
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？	0 人	3 人	8 人	3 人	14 人
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	1 人	8 人	4 人	1 人	14 人

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・ 包括支援センター内で、月 1 回開催される認知症カフェに参画し、ご利用者と一緒に参加する事が出来ている。年間計画を作成する時点から会議に出席し、事業所として年 2 回、カフェを担当し地域住民と関わる機会を作っている。移転前後で状況は違うが、移転後は子供や大学生が事業所を訪れる機会もある。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・ 移転後で、まだまだ町内会活動や自治会活動への参加が少ない。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 認知症カフェへの参画を継続し、参加者との交流を深める。職員全体で考え参加機会を設ける。</li> <li>・ 町内会活動、自治会活動に参加する。</li> <li>・ 事業所のイベントがあれば、外の掲示板や地域の方々へ案内を配布する。</li> <li>・ 地域の介護相談等応じられるように、全職員が事業所の特色や内容を伝えられるようにする。</li> </ul>	



事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 12 月 26 日 (18 : 15 ~20 : 30)

7. 運営

メンバー 14 人/14 人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0 人	0 人	7 人	7 人	14 人

前回の改善計画  
 ・担当職員だけではなく、交代で認知症カフェに参加し、地域住民の方々と交流を深めていく。  
 (毎月開催されるカフェに参加する。)

前回の改善計画に対する取組み結果  
 ・毎月開催される認知症カフェには参加できている。担当職員が企画、参加する事で、地域住民の方々と顔なじみになり、関係が構築出来た。全職員参加しているわけではないので、カフェに対する意識に差が出てしまっている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?	0 人	7 人	4 人	3 人	14 人
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	0 人	12 人	0 人	2 人	14 人
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	0 人	8 人	4 人	2 人	14 人
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	0 人	4 人	8 人	2 人	14 人

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること  
 ・送迎時や訪問時など、ご家族から頂いたご意見があればミーティングや朝礼で話し合いを行っている。  
 ・ご利用者との関わりでは、会話の中から言葉を掬い上げるようにしている。  
 ・事業所移転前に、地域住民の方々を対象に内覧会を行い、見学に来て頂いた方に事業所の取り組みや目指す姿をお伝えした。移転後、町内会の一斉清掃に参加し地域の方々との交流の機会を設ける様に努めている。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること  
 ・小学校区における地域とした場合は、認知症カフェへの参加をきっかけに、地域住民の方々と接する機会を頂いた。事業所の移転があり、新しい地域との交流がこれからである。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)  
 ・担当職員だけではなく、交代で認知症予防カフェに参加し、地域住民の方々と交流を深めていく。  
 (毎月開催されるカフェに参加する。)  
 ・地域の方と合同の行事や勉強会を企画し開催する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 12 月 26 日 (18 : 15 ~20 : 30)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 14 人/14 人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0 人	9 人	4 人	1 人	14 人

前回の改善計画

- ・リスクマネジメント研修会で、リスクに対して認識に差が出ないよう事例を通して話し合う。(ご利用者の状態、環境面等気があればその都度記録しミーティングする。)

前回の改善計画に対する取組み結果

- ・事故報告やヒヤリハットの事例を通して、再発防止・対策や振り返りは出来ている。移転後は、環境が変わるので介助方法や危険個所の確認を行った。リスクマネジメント研修会の開催が出来ていない。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	5 人	5 人	4 人	0 人	14 人
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	0 人	4 人	5 人	5 人	14 人
③	地域連絡会に参加していますか	9 人	5 人	0 人	0 人	14 人
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	0 人	6 人	6 人	2 人	14 人

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・年間研修計画を立てて、毎月 1 回内部研修を開催している。職員が持ち回りで各テーマを担当し、振り返りやスキルアップの機会になっている。
- ・ヒヤリハットや事故事例について話し合いを行い職員間で情報の共有に努めた。
- ・市内にある複数の事業所で定期的に集まり、研修会の企画や啓発活動を行っている。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・職員間でリスクに対する認識に差があり、まだまだ共有が不足している。
- ・内部・外部研修の年間計画が不十分であった。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)

- ・内部研修の内容を検討、見直ししていく。(事例を通しての意見交換等、聞くだけではなく参加型の内容にしていく)
- ・参加出来ない職員に対し、確実に伝達講習を実施する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 30 年 12 月 26 日 (18 : 15 ~20 : 30)

9. 人権・プライバシー

メンバー 14 人/14 人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	0 人	7 人	6 人	1 人	14 人

前回の改善計画

- ・声かけや言葉遣いを取り上げて、関わり方について振り返る。(3ヶ月に1回)
- ・朝礼時以外に情報の伝達が必要な時、当日のリーダーと発信者が小集団を形成し伝達していく。(ご利用者の間を話し声が飛び交わないように。)

前回の改善計画に対する取組み結果

- ・声かけや言葉遣いに関しては、その都度問題点について話し合いを行っているが、3か月に1回の振り返りまでは出来ていない。
- ・周囲に配慮して申し送り等行っているが、伝達をしていく過程で徹底出来ていない時もある。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	5 人	9 人	0 人	0 人	14 人
②	虐待は行われていない	9 人	5 人	0 人	0 人	14 人
③	プライバシーが守られている	4 人	9 人	1 人	0 人	14 人
④	必要な方に成年後見制度を活用している	7 人	7 人	0 人	0 人	14 人
⑤	適正な個人情報の管理ができている	5 人	8 人	1 人	0 人	14 人

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・見守りを基本として寄り添うような関わりを心掛けている。ご本人の思いや言動を傾聴し、掬い上げて職員間で「待つ」事を大切にして支援することが出来ている。
- ・身体拘束や虐待についての研修会を開催して、日々の支援を振り返る時間を作っている。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・情報の伝達時、プライバシーの配慮が足りない所がある。日頃の声かけや、職員間の情報の伝達の在り方をしっかりと意識することが必要である。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)

- ・対人援助技術についての勉強会を行う。
- ・一つ一つの言葉かけを大切に丁寧に接する。